

5 主な行事



【入園式】
【親子歓迎遠足】



【保育参観】【プール開き】
【夕涼み会】



【運動会】



【持久走大会】



【クリスマス会】
【餅つき】



【カルタ取り】
【小学校体験入学】



【お別れ遠足】
【卒園式】



うぶやま保育園 保育園要覧

〒 869-2703
熊本県阿蘇郡山内町山鹿2101番地
TEL 0967-25-2014
FAX 0967-25-2050
E-mail ubuyamabo@kuen@ubuyama-nv.jp

1 保育園の概要

〈経営主体〉 産山村 (所管) 教育委員会
 〈名称〉 うぶやま保育園
 〈所在地〉 熊本県阿蘇郡産山村山鹿2101番地
 TEL 0967-25-2014
 FAX 0967-25-2050
 E-mail ubuyamahoikuen@ubuyama-v.jp

〈沿革〉 平成16年4月
 産山保育園、産山北部保育所、産山南部保育所を統合し、「うぶやま保育園」として認可される。
 平成25年7月
 保育園の所管を住民課から教育委員会に移管し、保小中一貫教育を始める。

〈定員〉 75名
 〈関係学校〉 産山学園

2 保育内容

赤ちゃんの時から一人一人を大切に、信頼感を育みます。そして身近な大人や友達との遊びや活動などの豊かな体験を通して、「生きる力」《自分を大切にできる力・意欲的に生活し遊ぶ力・自分を豊かに表現する力・自立する(自分をコントロールする)力・人と関わる力》を培う保育を行います。

健康でたくましい体づくり

★ 園外保育、リズム運動、広場遊び、遊具遊びなどを通して、歩く、走る、上る、飛ぶ、ぶら下がるなど乳幼児期に体験しておきたい基本的な動きを経験し、丈夫な体を育てます。



豊かな自然体験

★ 自然に触れて、四季の移り変わりを体で感じながら、豊かな感性と五感の働きを培います。



3 身体表現と豊かな表現活動

★ 体操や遊戯などの身体表現を行ったり、言葉遊びや読み聞かせ、お絵かきなどの多様な表現活動に親ませたりすることを通して、豊かな感性を育み、自己表現する力を培います。



食への関心

★ 食は生きることの源です。豊かな食の体験を積み重ね、楽しく食べる体験を通して、食の関心を育みます。



子育てと親育ちの輪づくり

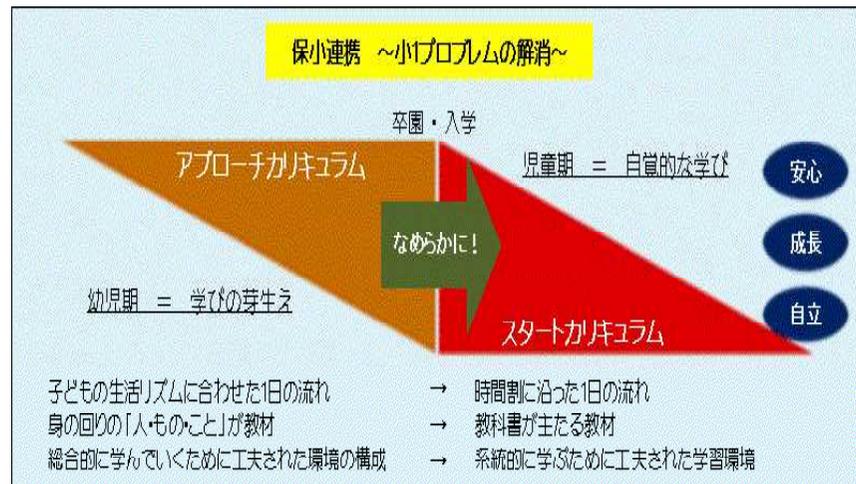
★ 日常の遊びや集団活動だけでなく園・学校支援ボランティアによる体験活動をまた、様々な行事を通して保護者同士のつながりを強くし、子育てと親育ちの輪づくりをしていきます。



3 園の特色

保小のスムーズなつながり

昨今、小学校1年生が学校生活に適應できない「小1プロブレム」が大きな課題となっています。産山村では「0歳からの育ちをつなぐ保小中一貫教育」を推進しており、とりわけ保育園と小学校との接続をスムーズにする目的で、保育園では「わくわくキッズデイ」などのアプローチカリキュラムを、小学校ではスタートカリキュラムを実施しています。(下図)



4 保育園経営の基本構想

保育理念

産山で保育(教育)を受けてよかったと実感できる保育の創造

保小中学校共通訓

「We have a dream」
 * 「15の春に輝きを」
 …0歳から、15年後の春を見据える。

保育方針

- 知・徳・体の調和した力を持った子どもの育成
- ◇自ら考え、行動・表現する子どもの育成
 - ◇自他を大事にし、豊かな心を持った子どもの育成
 - ◇元気に生活できる体力を持った子どもの育成

保育の使命

子どもの才知や感覚(才能、可能性、感性、「育ち力」など)を伸ばすこと。

* 卒啄の機

卵の中のヒナ鳥が目覚めて、殻を内側から打ち破ろうとつく時、親鳥はそれに応じて機を逃さないで外側からつつヒナ鳥を新しい世界へと送り出すことから時期を感じて、いに応じあうことを卒啄の機(卒啄動機)という。保育とはまさに「卒啄動機」の営みである。

経営指針

- 1 人権尊重の精神を基底におき、園児・家庭・地域との信頼関係のもと、生き生きとしたうぶやま保育園を創造する。(人権尊重)
- 2 安心・安全な保育環境を整える。(保育環境)
- 3 一人一人の心身の状況や実態を的確に把握し、発達段階を踏まえて養護と教育が一体となった保育を展開する。(養護と教育の一体化)
- 4 地域社会と連携した運営に努める。(地域連携)
- 5 保小中一貫教育~「じっくり」「しっかり」「のびのび」を推進する(学びの連続性)